

女川スタジアムが竣工しました。



メインスタンドと一体感のあるクラブハウス機能を持つ管理施設



優しく迎える杉板張りのファサード

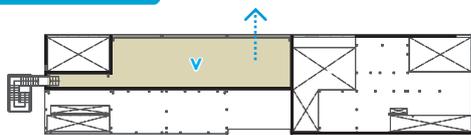


木に包まれるチーム更衣室

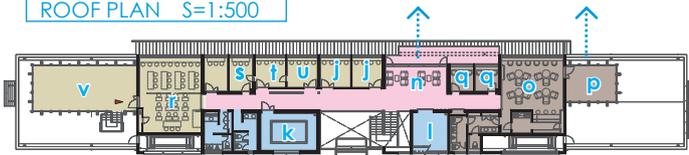


CLTを段板とした階段

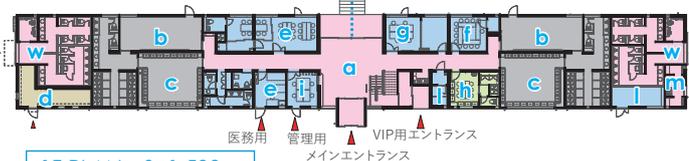
PLAN



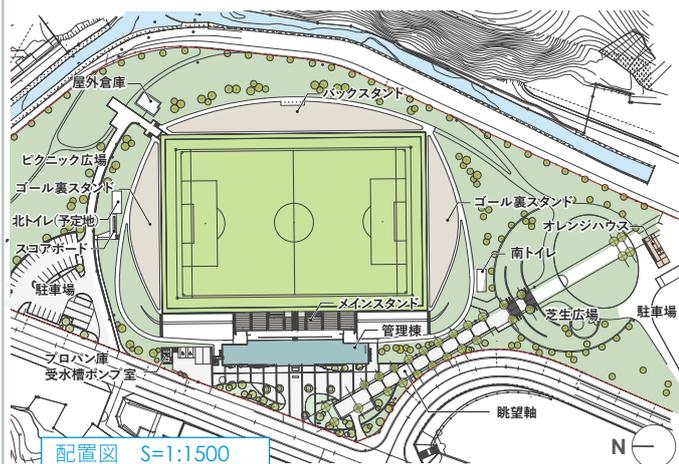
ROOF PLAN S=1:500



2F PLAN S=1:500



1F PLAN S=1:500



配置図 S=1:1500

- 共用
- 選手
- スタッフ・管理
- メディア
- VIP
- 審判

..... スタジアムへの眺め

- a. エントランスホール
- b. 室内ウォームアップエリア
- c. チーム更衣室
- d. メディア控室
- e. 医務室
- f. 会議室
- g. 運営本部室
- h. 審判員控室
- i. 管理事務室
- j. 実況放送室
- k. 電気室
- l. 倉庫
- m. 授乳室
- n. ウミネコホール
- o. チームラウンジ
- p. ラウンジバルコニー
- q. 応接室
- r. 記者室
- s. 放送室
- t. 記録員室
- u. マッチコミッショナー室
- v. カメラマンスペース
- w. 屋外用トイレ

▶ 出入口

CONCEPT

J3基準のスタジアムづくり

女川スタジアムは、復興まちづくりの一つとなる清水公園の管理施設です。東日本大震災後、復興住宅用地とされた多目的グラウンドに代わる、女川町の新たな健康運動機能の中心となり、町内クラブチームのJ3昇格の機運に合わせたJリーグ基準に沿った施設整備となります。

木に包まれるクラブハウス

建物全体は杉板張りの外装とし、来場アプローチでは優しく迎え入れる表情をする一方、メインスタンドの背として、大きな屋根並みがチームを力強く鼓舞する姿を現します。

サッカー公式戦開催時には、運営管理諸室やチーム控室、メディア拠点となり、木造のクラブハウスは各所に木の優しさをしつらえた空間としました。

構造強度を高めるCLTやダイヤモンドブレースは、階段や廊下などに現しとして見せることで、木構造の強さと面白さを直接伝え、ウミネコホールは緑映えるグラウンドと一体感のある公共の場を提供します。



ダイヤモンドブレース

ウミネコホール

DATA

敷地面積	: 51,446.42㎡
建築面積	: 740.47㎡ (管理棟:727.41㎡、ポンベ庫:5.56㎡、受水槽ポンプ室:7.50㎡)
延床面積	: 1,012.76㎡
建ぺい率	: 1.44%(許容:60%)
容積率	: 1.97%(許容:200%)
構造・規模	: 木造・地上2階 ベタ基礎
最高高さ	: 9.527m
軒高	: 8.987m
階高	: 1階・3.15m 2階3.15m
天井高さ	: 2.35m 2.45m
主なスパン	: 6.65m×3.8m
設計期間	: 2018.09~2019.12
工事期間	: 2020.04~2021.03

TOPICS

ホーム初陣を飾る圧勝!!

芝育成期間をおき、ようやくホーム初戦を迎えた22年6月5日。6-0のゴールショーを見せ、スタジアムの門出を華々しく飾りました。



臨場感のあるスタジアムで躍動する選手たち

▶ <http://www.nissoken.co.jp>